

大会開催にあたって

今年度の研究大会は久しぶりの対面開催になります。一定の期間一つの場所に人が集って研究交流をする学会の原点に立ち戻ります。ネットワークキングタイムという交流の時間も設定しています。合計6名の研究者が個人研究発表を行いますので、ぜひとも会場の議論にご参加ください。シンポジウムは「喪失をめぐる対話」と題して、金子絵里乃氏、鈴木生郎氏、中真生氏の各氏に提題していただき、それぞれ臨床死生学、分析哲学、現象学を含む現代哲学・倫理学の分野から「喪失」をめぐる対話をしていただきます。また、男女共同参画・若手研究者支援ワークショップとして「教養としての哲学・現象学——初期キャリア研究者が何をどう教えるか」が開催され、現象学に限らない教養科目を大学で教える場合などに、専門的関心を持つわけではない学生に対して、何をどう教えるかという課題を共有します。多くの会員諸氏のご参加をお待ちしております。非会員の皆様にもご案内いただければ幸いです。

企画実行委員長

プログラム

10月28日（土）

10:00-12:30 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

会場（1123番教室）

司会：小手川委員・斎藤委員

10:00-10:50 中谷碩岐

前期デリダのフッサール読解における正常性の問題

10:50-11:40 味村考祐

テキスト解釈における「適用」の必要性について

11:40-12:30 渡辺朱音

マックス・シェーラーの他者知覚論における「自他無差別の体験流」の検討

12:30-13:50 昼休み

第1回委員会・会場（1124番教室）

13:50-16:50 【シンポジウム】会場（1123番教室）

「喪失をめぐる対話——経験の多面性を見つめて」

提題者：金子絵里乃（日本大学）

提題者：鈴木生郎（日本大学）

提題者：中 真生（神戸大学）

司会：古荘真敬（東京大学）

17:00-18:00 ネットワークキングタイム

10月29日（日）

09:50-12:20 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

会場（1123番教室）

司会：石原委員・吉川委員

09:50-10:40 丸山望実

「全体論的規範主義」は概念主義なのか

10:40-11:30 塩飽千丁

現象学者、ウィルフレッド・ピオン——精神分析家のエポケー

と生成する意味

11:30-12:20 大内良介

痛みの逆説

12:20-13:50 昼休み

第2回委員会・会場（1124番教室）

13:50-14:20 総会（会場：1123番教室）

14:25-15:25 【特別講演】会場（1123番教室）

Jussi Backman (University of Tampere)

“After Correlationism? Phenomenology and the Speculative Turn in Continental Philosophy”

15:30-18:00 【男女共同参画・若手研究者支援WG主催ワークショップ】会場（1123番教室）

「教養としての哲学・現象学

——初期キャリア研究者が何をどう教えるか」

オーガナイザー：金成祐人（帝京大学）

登壇者：三村尚彦（関西大学）

登壇者：宮原 優（立命館大学）

登壇者：渡邊浩一（福井県立大学）

【会員休憩室】1125教室

お知らせとお願い

1 2022年度決算報告(2022.4.1~2023.3.31)

【歳入】		【歳出】	
歳入項目	決算額	歳出項目	決算額
前年度繰越金	¥1,944,638	『年報』出版費	¥0
納入学会費	¥1,074,000	『年報』編集費	¥0
『年報』売上	¥3,030	『年報』送料	¥6,585
研究大会参加費	¥25,350	通信費	¥68,540
普通預金利子	¥1	企画・実行費	¥0
計①	¥3,047,019	事務局経費	¥42,642
【次年度繰越金】	¥2,406,201	研究大会開催費	¥94,556
		研究大会講師謝礼	¥60,495
		国際学会年会費	¥0
		事務謝礼	¥368,000
		会員名簿作成費	¥0
		事務局移転費	¥0
		研究奨励費	¥0
		特別経費	¥0
計②	¥640,818		

2 会費納入

学会費(年間3,000円)を同封の振込用紙にてご納入下さい。

3 『現象学年報』印刷版について

すでにご存知のことかと存じますが、日本現象学会の学会誌『現象学年報』は、2021年11月発行の第37号をもって、印刷版の会員配布を廃止いたしました。2022年11月発行の第38号以降は、原則として、電子版の配信というかたちで『現象学年報』を会員の皆

様にお届けしています。ただし、東西の国会図書館への送付のため、同誌の印刷版を極小部数作成することになっております。こちらの印刷版については、会員の皆様にも実費負担で購入していただくことができます(価格未定。単価・購入希望数によって変わります)。第39号(2023年11月発行予定)の印刷版の購入をご希望の方は、2023年11月15日23:59までに下記のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/g6mEhvTyQKzhYkcw5>



第45回

研究大会

日時:2023年10月28日(土)・29日(日)
会場:明治大学駿河台キャンパス(リバティタワー12階)

参加費:500円(会員・非会員の区別なし)

日本現象学会

事務局:
〒060-0810
札幌市 北区北10条西7丁目
北海道大学 大学院文学研究院 田口茂研究室内
Email: paj-office@pa-j.jp
郵便振替 00980-9-109153
HP: <http://pa-j.jp/>